

授業科目	*基礎看護学実習 I					実務家教員担当科目	○				
単位	1.	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期				
担当教員	金山 正子										
授業概要	<p>病院における看護の実際および入院生活を送る対象者とのコミュニケーションの実践を通して、病をもち入院生活を送る対象者のニーズについて理解する。また、対象者の生活上のニーズを満たすために必要な看護援助について考え、指導者とともに根拠に基づいて見学・実践する。これらの過程を通して、看護者に求められる態度・姿勢について考え、基礎的能力を養う。</p> <p>各教員は実務家教員として、臨地実習指導者と連絡・調整し、学生が目標を達成できるように支援する。</p>										
授業形態	実習					授業方法	・臨地実習 ・Classroom を活用して連絡				
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<p>詳細は 2024 年度看護学実習要綱の実習目標を参照。</p> <p>1. 入院している対象者とのコミュニケーションを通して、療養生活について考察できる。</p> <p>2. 対象者に必要な看護援助について、根拠をもとに見学・実践できる。</p> <p>3. 看護者に求められる態度・姿勢について考え、行動することができる。</p>										
理想的レベル	<p>標準的レベルの目標 1～3 を達成する。</p> <p>さらに、実習の学びと課題について整理し、今後の看護の学習に繋ぐことができる。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法			評価割合 (数値)				備考				
試験											
小テスト											
レポート			25%				実習記録は事前に説明する				
発表 (口頭、プレゼンテーション)			25%								
レポート外の提出物											
その他			50%				実習評価表を基に評価する				
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	○	DP5	○	ナンバリング	NU11211J
学習課題 (予習・復習)										1 回の学習目安 (時間)	
予習・復習:実習に必要な知識・看護技術について、既習の知識を活用するとともに、新しい知識・看護技術を調べて学習する。										0	
授業計画											
第 1 回	<p>基礎看護学実習 I (1 単位) の詳細は「2024 年度 看護学実習要綱」を参照。</p> <p>1. 実習単位・時間数: 1 単位 45 時間</p> <p>2. 実習期間: 2025 年 2 月 10 日 (月) ~2 月 21 日 (金) のうちの 5 日間 (※土・日・祝日を除く)</p> <p>3. 実習時間: 8 時 30 分~15 時 30 分、(※学内実習時間は 9 時 00 分~16 時 00 分)</p>										

	<p>4. 実習概要：事前にオリエンテーションを実施し、実習病院・病棟別にグループに分かれて実習を行う。</p> <p>日常生活援助を必要とする患者を受け持ち、患者とのコミュニケーションや患者の療養生活上のニーズ、援助計画を考え、</p> <p>看護を見学・実践する。また、看護者に求められる姿勢や態度について考える。</p>
<p>テキスト</p>	<p>・2024 年度看護学実習要綱:基礎看護学実習 I</p>
<p>参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介</p>	<p>事前の学内学習および病院実習中に、必要に応じて、適宜、参考図書を紹介、助言する。</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>実習時間中およびカンファレンス、実習終了日の面接等により、フィードバックを行う。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>この1年間で学習した知識や看護技術を活用するとともに、患者理解や看護に必要なことを積極的に調べ、学習し、学びを深めるように努めましょう。</p> <p>感染予防対策を行い、自己の健康管理を行うようにして、実習グループのメンバーで協力して学びましょう。</p>